

Webroot® Customer Case Study - MONEX GROUP

マネックスグループおよびマネックス証券が エンドポイントセキュリティ基盤をウェブルートにリプレース

～セキュリティ確保を最重要課題の1つに位置付けるマネックスグループおよび
マネックス証券が、「軽さ」「確実な保護」「運用の容易さ」を評価しウェブルートを選択～



MONEX GROUP

マネックスグループ株式会社 企業概略：
業種：金融商品取引業等を営む会社の株式
の保有

設立日：2004年8月2日

マネックス証券株式会社 企業概略：

業種：金融商品取引

設立日：1999年5月

代表者：代表取締役社長 CEO 松本 大

所在地：東京都千代田区麹町 2-4-1

導入以前の状況

- ・ウイルススキャンに長時間を要する
- ・PC パフォーマンスが大幅にダウンするためフルスキャンの実施サイクルを1回/月等に限定
- ・ウイルス定義ファイルの更新が集中するとネットワークが逼迫

導入効果

- ・スキャン時のクライアントへの負荷がほとんどない
- ・軽さを実現の上、セキュリティレベルは以前のまま落ちない
- ・管理サーバーの設定、ウイルス定義ファイルの更新作業などが不要
- ・オンライン/オフライン双方でのエンドポイント保護が可能
- ・使用リソースが少ないため、今後の仮想化環境移行にも有効

オーバービュー

顧客情報など非常に機密性の高い情報を取り扱うマネックス証券およびマネックスグループでは、システムにおける情報セキュリティ確保を最重要課題の1つに掲げています。特に業務端末を保護するエンドポイントセキュリティの担保は、必要不可欠なテーマとなっています。以前、使用していたエンドポイントセキュリティ製品では解消できない課題を抱えていた同社では、ウェブルートのセキュアエニウェア ビジネス - エンドポイントプロテクションをトライアル使用し、その性能と運用の容易さを高く評価。以前の製品から切り替える形での導入を決定し、2013年3月末時点で約500エンドポイントの展開を完了しました。

課題

以前使用していたエンドポイントセキュリティソフトウェア（Symantec Endpoint Protection）について、マネックスグループおよびマネックス証券では数々の課題を抱えていました。両社のITシステム全般を管理するマネックスグループ株式会社 O&T企画室の岩崎 祐介氏は、次のように語ります。

「動作が重いことが一番大きな問題でした。スキャンにも長時間かかるため、フルスキャンをスケジューリングしてしまうと、ユーザの業務が停止してしまう状況が発生しました。また、ウイルス定義ファイルの更新が集中してネットワーク負荷が高まり、逼迫した状態になるというトラブルも経験しました」

そこで同社では、クライアントに与える負荷が低くウイルス定義ファイルの更新における手間やネットワーク負荷を低減できるエンドポイントセキュリティソリューションの選定を開始しました。

ソリューション

対象ソリューションを模索する過程で、ウェブルートの存在を知った岩崎氏は、30日の無料トライアル版をダウンロードし、自ら評価を実施。「ウイルス定義ファイルの更新が不要である点を大きく評価しました。実際にトライアルを行ったことで、軽さやツールとしての使い勝手の良さをすぐに実感できました」と話します。唯一の未確認事項であったオフライン時の保護機能についても、ウェブルートの担当者から対応している旨を確認。2013年2月後半に、採用に向けた稟議の承認を受け、展開を開始しました。



「ウイルス定義ファイルの更新が不要である点を大きく評価し導入しました。以前と比べてセキュリティレベルは一切低下せず、一方でパフォーマンスが向上したため、社内からも「軽くなった」という評価の声があがっています」

マネックスグループ株式会社
O&T 企画室 岩崎 祐介氏

Webroot® Customer Case Study - MONEX GROUP

導入効果

2013 年 2 月後半の導入決定から約 1 ヶ月という短期間で約 500 エンドポイントの展開を完了した同社ですが、既に現場からウェブルート セキュアエニウェア ビジネス - エンドポイントプロテクションを評価する声があがってきています。

岩崎氏は、「ネガティブな反応は一切なく、数人から『軽くなったね!』という言葉ももらいました。また、フルスキャンを行っても PC のパフォーマンスが落ちないので今では毎日、始業時間前にスキャンをかけるようになりました。セキュリティという視点で考えれば、より望ましい状況になったと思っています」と話します。

総括して、岩崎氏は、ウェブルートソリューションの導入効果について、以下の 6 つのポイントをあげます。

- スキャン時におけるクライアントへの負荷がほとんどない
- 軽さを実現の上、以前と比較してもセキュリティレベルが落ちない
- 管理サーバーの設定、ウイルス定義ファイルの更新作業などが不要
- オンライン/ オフライン双方でのエンドポイント保護が可能
- 使用リソースが少ないため、今後の仮想化環境移行にも有効
- 既存のセキュリティ製品との共存ができるため、評価プロセスの実施が非常に容易



今後の展望

迅速な導入を実現し、ウェブルート セキュアエニウェア ビジネス - エンドポイントプロテクションの導入効果を、正に体感しつつある同社ですが、その視点は既に次のステップに向けられています。

「営業担当などが使用する社外へ持ち出すモバイル PC がありますが、そこにもウェブルート セキュアエニウェアをインストールすることで、社内/ 社外を含めて、一元管理ができるようにしたいと考えています。オンライン/ オフラインに限らずエンドポイントを保護できるというウェブルートの特長を活かせると期待しています」と岩崎氏は締めくくりました。

「セキュリティレベルを落とさないこと」を必須要件に、エンドポイントセキュリティ基盤を刷新したマネックスグループ。

そのビジネス活動を、安全かつ軽快に推進するためのセキュリティ基盤として、ウェブルートは、日々貢献しています。

©2013 Webroot Inc. All rights reserved.

※ Webroot、Webroot ロゴは、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

お問い合わせ

ウェブルート株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山 3-13-18 313 南青山 6 / 8 階

URL <http://www.webroot.co.jp/> Facebook : WebrootJapan Twitter : @Webroot_JP